

1 目的

- 1) 山口県産材による「2×6」材の開発を行う
- 2) 「2×6」のたて継ぎ材、「2×6」集成ラミナーの試験体を製作し、試験データを
得る（「2×6」の集成材の試作を行う）
- 3) 県内業者への提案を行い、県産材の利用促進に繋げたい

2 実施内容

集成材ラミナーの製作・試験データまとめ

- ① 県内産 間伐材を 山口県森林組合連合会より購入
- ② 中井産業(株)で 製材 乾燥 ラミナー製作 たて継ぎ材 集成材製作
- ③ 広島県立林業技術センター にて試験データ作成
- ④ 山口県産材による 2×4 住宅部材を、業界へ提案を行う。

3 実施結果

- ① 原木の末口直径 200mm、220mm、240mm、260mm、280mm 各 4 本を番地ごとのラミナーの機械等級区分を行う
- ② 原木 50 本ごとのラミナー別の機械等級区分を行う。
- ③ 乾燥室の乾燥単位の原木 203 本のラミナー別の機械等級区分を行う
- ④ FJ ラミナー・集成材・FJ 芯持ち平割材の曲げ基本物性試験・曲げ・引張実大材強度試験を行う

4 成果と課題

杉材として、芯部分の水分が多く年輪幅も広いことから、強度的に低位で機械等級区分で L50G 4,835 本 (36.91%)、L50 3,087 本 (23.56%)、L60 3,099 本 (23.66%)、L70 1,277 本 (9.75%)、L80 802 本 (6.12%) となった。住宅部材として乙種たて継ぎ材、甲種枠組み材を「2×6」で提案した。今後、2×4 住宅部材として 土台・床版床根太・小屋組等の 4×4、2×10、2×6 を企画提案したい。

5. まとめ

地域のスギ材を 2×4 住宅部材として等級区分された物は「強い」スギとして十分活用でき、横架材のスパン表等を使用して販売していきたい。